



2019年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月11日

上場会社名 JESCOホールディングス株式会社
 コード番号 1434 URL <https://www.jesco.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 唐澤 光子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理室長 (氏名) 二戸 慎也

TEL 03-5937-6151

四半期報告書提出予定日 2019年1月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第1四半期の連結業績(2018年9月1日～2018年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年8月期第1四半期 | 2,332 | 70.5 | 22 | | 14 | | 13 | |
| 2018年8月期第1四半期 | 1,368 | 3.5 | 22 | | 29 | | 31 | |

(注) 包括利益 2019年8月期第1四半期 28百万円 (463.7%) 2018年8月期第1四半期 5百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年8月期第1四半期 | 2.06 | 2.04 |
| 2018年8月期第1四半期 | 5.04 | |

(注) 2018年8月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2019年8月期第1四半期 | 9,754 | 3,593 | 33.3 |
| 2018年8月期 | 10,141 | 3,659 | 32.3 |

(参考) 自己資本 2019年8月期第1四半期 3,252百万円 2018年8月期 3,279百万円

当第1四半期連結会計期間の期首より「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を適用しており、2018年8月期の連結財政状態につきましては、遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年8月期 | | 0.00 | | 10.00 | 10.00 |
| 2019年8月期 | | | | | |
| 2019年8月期(予想) | | 0.00 | | 11.00 | 11.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日～2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-------|------|-------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 10,000 | 8.1 | 400 | 145.4 | 385 | 154.8 | 230 | 79.1 | 35.67 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2019年8月期1Q | 6,449,500 株 | 2018年8月期 | 6,447,900 株 |
| 期末自己株式数 | 2019年8月期1Q | 845 株 | 2018年8月期 | 45 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2019年8月期1Q | 6,447,855 株 | 2018年8月期1Q | 6,340,268 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)」より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年9月1日～2018年11月30日)においては、米中を中心とした通商問題の動向による世界経済に与える影響等、海外経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。一方、わが国経済は、政府、日銀による経済政策・金融政策等により、全般的に企業を取り巻く環境は緩やかな回復基調が続きました。

このような経済環境と見通しの中、当社グループは、国内市場においては、長年に渡り積み上げてきた技術力と顧客からの信用力を活かし、今後も既存事業領域における受注拡大を図るとともに、新規事業領域・拠点等での事業の拡充を進めてまいります。また、海外市場においては、堅調な経済成長を続けるベトナムにおける建設投資需要を積極的に取り込みつつ、アセアン拠点網の拡大に伴う人材を確保し、受注の拡大を図ってまいります。

なお、当社グループにおいては、事業の特性上、検収時期が3月～8月に集中する一方、販売費及び一般管理費の固定費は、年間を通じてほぼ恒常的に発生するため、結果として利益が当該時期に偏る傾向にあります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高23億32百万円(前年同四半期比70.5%増)、営業利益22百万円(前年同四半期は営業損失22百万円)、経常利益14百万円(前年同四半期は経常損失29百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益13百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失31百万円)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

a 国内EPC事業

国内EPC事業においては、JESCO CNS株式会社において、ETC、CCTV等の高速道路付帯設備及び商業施設関連工事を中心として、大幅な増収増益となりました。また、JESCO SUGAYA株式会社においても、公共インフラ関連工事や電気設備関連工事等を中心に受注が増加するとともに、売上高も大幅に増加いたしました。この結果、当事業全体としては増収増益となりました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高14億87百万円(前年同四半期比118.5%増)、セグメント損失5百万円(前年同四半期はセグメント損失61百万円)となりました。

b アセアンEPC事業

アセアンEPC事業においては、JESCO ASIA JOINT STOCK COMPANYにおいて、工場建物の設備工事案件に加え、設計・積算業務の受注及び出来高が増加したこと等により増収増益となりました。また、JESCO HOA BINH ENGINEERING JOINT STOCK COMPANYにおいては、ホーチミン市の大型集合住宅の電気設備、給排水衛生設備等の工事が進行したことにより増収となりましたが、材料費、人件費等の高騰により原価率が上昇したこと等から減益となりました。

なお、2018年1月に新たに設立したJESCO CNS VIETNAM COMPANY LIMITEDについては、連結の範囲に含めた時期を前連結会計年度末としたため、当第1四半期連結会計期間の期首から損益計算書についても連結しておりますが、連結業績に与える影響は軽微であります。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高8億13百万円(前年同四半期比27.8%増)、セグメント利益13百万円(同69.1%減)となりました。

c. 不動産事業

不動産事業は、前第4四半期連結会計期間において、賃貸用資産(JESCO新宿御苑ビル)を売却したこと等により減収となりましたが、引き続き賃貸管理収入により安定した収益事業となっております。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高32百万円(前年同四半期比36.6%減)、セグメント利益28百万円(同40.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、60億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億56百万円の減少となりました。これは、現金及び預金が7億19百万円減少し、未成工事支出金が2億22百万円増加したこと等によるものであります。当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、37億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円の増加となりました。これは有形固定資産が23百万円減少し、投資その他の資産が95百万円増加したこと等によるものであります。この結果、当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、97億54百万円となり、3億86百万円の減少となりました。

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、41億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億19百万円の減少となりました。これは未成工事受入金が6億19百万円増加し、未払法人税等が4億1百万円、短期借入金が2億76百万円減少したこと等によるものであります。当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、20億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円の減少となりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、61億61百万円となり、3億20百万円の減少となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、35億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円の減少となりました。これは利益剰余金が51百万円減少したこと等によるものであります。

また、自己資本比率は前連結会計年度末の32.3%から当第1四半期連結会計期間末は33.3%になりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態に関する説明については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月期の通期連結業績予想につきましては、2018年10月15日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年8月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2018年11月30日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,779,408 | 1,059,415 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 3,785,260 | 3,787,714 |
| 未成工事支出金 | 750,961 | 973,204 |
| 原材料及び貯蔵品 | 31,288 | 31,359 |
| その他 | 218,344 | 257,716 |
| 貸倒引当金 | △101,087 | △101,870 |
| 流動資産合計 | 6,464,175 | 6,007,540 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 1,681,073 | 1,681,831 |
| 減価償却累計額 | △571,531 | △586,226 |
| 建物及び構築物(純額) | 1,109,541 | 1,095,604 |
| 機械装置及び運搬具 | 102,872 | 121,277 |
| 減価償却累計額 | △90,403 | △109,441 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 12,468 | 11,836 |
| 土地 | 2,208,765 | 2,208,765 |
| リース資産 | 204,933 | 204,948 |
| 減価償却累計額 | △173,657 | △180,006 |
| リース資産(純額) | 31,275 | 24,942 |
| その他 | 264,340 | 272,052 |
| 減価償却累計額 | △232,070 | △242,835 |
| その他(純額) | 32,269 | 29,216 |
| 有形固定資産合計 | 3,394,320 | 3,370,365 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 12,973 | 12,523 |
| その他 | 22,326 | 21,498 |
| 無形固定資産合計 | 35,299 | 34,021 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 60,031 | 155,683 |
| 繰延税金資産 | 78,501 | 78,574 |
| その他 | 129,666 | 131,190 |
| 貸倒引当金 | △30,936 | △32,706 |
| 投資その他の資産合計 | 237,262 | 332,741 |
| 固定資産合計 | 3,666,883 | 3,737,129 |
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | 10,160 | 9,890 |
| 繰延資産合計 | 10,160 | 9,890 |
| 資産合計 | 10,141,219 | 9,754,560 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年8月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2018年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金等 | 2,268,591 | 2,239,591 |
| 短期借入金 | 472,265 | 195,285 |
| 1年内償還予定の社債 | 50,000 | 50,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 18,778 | 18,802 |
| リース債務 | 28,768 | 24,291 |
| 賞与引当金 | 51,618 | 61,279 |
| 工事損失引当金 | 19,642 | 30,409 |
| 未払法人税等 | 413,579 | 11,814 |
| 未成工事受入金 | 568,849 | 1,188,736 |
| その他 | 539,275 | 291,322 |
| 流動負債合計 | 4,431,370 | 4,111,532 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 425,000 | 425,000 |
| 長期借入金 | 842,398 | 837,688 |
| リース債務 | 8,931 | 4,640 |
| 繰延税金負債 | 116,755 | 116,751 |
| 退職給付に係る負債 | 185,461 | 183,647 |
| 長期末払金 | 333,688 | 333,688 |
| 資産除去債務 | 15,138 | 15,164 |
| その他 | 123,074 | 132,915 |
| 固定負債合計 | 2,050,449 | 2,049,497 |
| 負債合計 | 6,481,819 | 6,161,029 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 946,748 | 946,924 |
| 資本剰余金 | 846,569 | 866,447 |
| 利益剰余金 | 1,525,562 | 1,474,380 |
| 自己株式 | △25 | △25 |
| 株主資本合計 | 3,318,854 | 3,287,726 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,278 | 1,521 |
| 為替換算調整勘定 | △43,472 | △36,573 |
| その他の包括利益累計額合計 | △39,193 | △35,051 |
| 新株予約権 | 444 | 444 |
| 非支配株主持分 | 379,294 | 340,413 |
| 純資産合計 | 3,659,399 | 3,593,531 |
| 負債純資産合計 | 10,141,219 | 9,754,560 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2017年11月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 1,368,576 | 2,332,927 |
| 売上原価 | 1,158,849 | 2,097,160 |
| 売上総利益 | 209,726 | 235,767 |
| 販売費及び一般管理費 | 232,197 | 213,576 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △22,470 | 22,191 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 633 | 2,026 |
| 為替差益 | 513 | — |
| 作業屑売却益 | 2,860 | 1,994 |
| その他 | 2,451 | 2,159 |
| 営業外収益合計 | 6,458 | 6,180 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8,887 | 6,390 |
| 為替差損 | — | 5,851 |
| その他 | 4,538 | 1,566 |
| 営業外費用合計 | 13,426 | 13,807 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △29,439 | 14,564 |
| 特別利益 | | |
| 保険解約返戻金 | 8,239 | — |
| 負ののれん発生益 | 6,973 | — |
| 特別利益合計 | 15,213 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 4,298 | — |
| 特別損失合計 | 4,298 | — |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △18,524 | 14,564 |
| 法人税等 | △9,343 | △5,906 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △9,181 | 20,470 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 22,756 | 7,174 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △31,937 | 13,296 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2017年11月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日) |
|-------------------|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △9,181 | 20,470 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,525 | △2,757 |
| 為替換算調整勘定 | 5,676 | 10,589 |
| その他の包括利益合計 | 14,202 | 7,832 |
| 四半期包括利益 | 5,020 | 28,302 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △19,837 | 17,438 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 24,858 | 10,864 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|---------------------------|-------------|---------------|-----------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 国内EPC 事業 | アセアン EPC事業 | 不動産 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 680,736 | 636,118 | 51,527 | 1,368,382 | 194 | 1,368,576 | — | 1,368,576 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 27,000 | 13,606 | 10,680 | 51,286 | 109,731 | 161,018 | △161,018 | — |
| 計 | 707,736 | 649,724 | 62,207 | 1,419,669 | 109,926 | 1,529,595 | △161,018 | 1,368,576 |
| セグメント利益 又は損失(△) | △61,996 | 44,671 | 47,865 | 30,540 | △52,191 | △21,651 | △819 | △22,470 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額はセグメント間取引消去であり、営業損益間の消去161,018千円及び営業損益と営業外損益間の消去819千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|---------------------------|-------------|---------------|-----------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 国内EPC 事業 | アセアン EPC事業 | 不動産 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 1,487,204 | 813,064 | 32,658 | 2,332,927 | — | 2,332,927 | — | 2,332,927 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 5,060 | 16,385 | 12,663 | 34,108 | 118,650 | 152,758 | △152,758 | — |
| 計 | 1,492,264 | 829,450 | 45,321 | 2,367,035 | 118,650 | 2,485,685 | △152,758 | 2,332,927 |
| セグメント利益 又は損失(△) | △5,954 | 13,818 | 28,472 | 36,336 | △13,840 | 22,495 | △304 | 22,191 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額はセグメント間取引消去であり、営業損益間の消去152,758千円及び営業損益と営業外損益間の消去304千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。